

南 和志 (大阪大学 国際公共政策研究科・准教授)

題目：冷戦変容期における米中人民外交の展開

*People's Diplomacy: The Transformation of U.S.-China Relations in the Cold War*

要約：本研究は、冷戦変容期（1970年代）、アメリカと中国が非国家アクターを通じて非公式な外交関係を構築した過程、すなわち「人民外交」の展開を明らかにするものである。1972年のニクソン大統領訪中に代表される米中接近に関しては、政府間の外交交渉に焦点を当てた研究が多く、非国家アクターの役割はほとんど注目されてこなかった。しかし、1949年の中国共産党革命以来20年にわたり対立し、交流が寸断されてきた両国にとって、外交交渉のみにより信頼関係を回復することは不可能であった。そこで、米中政府は非国家アクターを利用し、経済・文化・教育の様々な分野で交流活動を活発化させることで、両国関係の改善を図った。本研究は、米中両国の幅広い史料を用い、これまで主に政府間外交の枠組で論じられてきた冷戦期米中関係の変容を、人民外交という新しい視点から再考するものである。